
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2008年第42週
(10月13日～10月19日)

- * 2008年10月22日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
 - * 今週は月報告(2008年9月)の疾患も掲載しています。

平成20(2008)年10月23日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話 : 03-3363-3213(直通)
FAX : 03-5332-7365
e-mail : idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2008年42週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		39週	40週	41週	42週		42週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							1
	結核	79	61	55	28	3437	239	21661
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
	鳥インフルエンザ (H5N1) **							
三類	コレラ			1		6	1	45
	細菌性赤痢	3	2	2	1	54	3	254
	腸管出血性大腸菌感染症	6	8	7	34	361	91	3801
	腸チフス	1		1	1	11	2	48
	パラチフス					5		25
四類	E型肝炎					6	1	36
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1			26	1	148
	エキノкокクス症							13
	黄熱							
	オウム病							7
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱					1		3
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					5	2	128
	デング熱		2			25	1	81
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						3	74
	日本脳炎							2
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							4
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							2
	マラリア	1		1	1	21	2	47
野兔病							4	
ライム病							4	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1	4	2	1	66	8	717	
レプトスピラ症	1				3	2	32	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		39週	40週	41週	42週	年累計	42週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	5	5	3	1	153	9	679
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)		1			25	1	184
	急性脳炎***		1			8	5	155
	クリプトスポリジウム症			1		4		8
	クロイツフェルト・ヤコブ病					12	3	125
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1			19		98
	後天性免疫不全症候群	6	14	4	10	429	21	1228
	ジアルジア症					19		67
	髄膜炎菌性髄膜炎					2		10
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	4	4	2	5	160	10	656
	破傷風		1			5	2	102
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					10		66
	風しん	1			1	40	2	279
麻しん	2	3	1		1154	14	10861	
2008/10/22集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** 2008年5月12日から指定された。

*** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 28件 肺結核16件、その他12件で、推定感染地はすべて国内。年齢は5歳未満1件、20歳代3件、30歳代7件、40歳代5件、50歳代3件、60歳代4件、70歳代3件、80歳代2件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 1件 ソンネで、推定感染地はガーナ、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。
腸管出血性大腸菌感染症 34件 有症状者17件、無症状病原体保有者17件で、血清型・毒素型はO111(VT1VT2) 28件、O111(毒素型不明) 2件、O157(VT1VT2) 1件、O157(VT1) 1件、O26(VT1) 1件、血清型不明(VT1) 1件であった。年齢は10歳未満26件(うち5歳未満23件)、10歳代1件、20歳代2件、30歳代2件、40歳代2件、60歳代1件であった。O111(VT1VT2)とO111(毒素型不明)の計30件は大田区内の保育園に関連した症例であり、園児(1~6歳)24人、職員3人、園児の家族3人が含まれ、うち園児2人がHUSを発症している。他に、血清型不明(VT1) 1歳の1人がHUSを発症している。
腸チフス 1件 推定感染地はインドで、生水による経口感染が疑われている。

〈四類感染症〉

マラリア 1件 三日熱マラリアで、推定感染地はインドであった。
レジオネラ症 1件 肺炎型で、推定感染地は都内、感染経路は不明であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 1件 腸管外アメーバ症で、推定感染地は中国/オーストラリア/ベトナム、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。
後天性免疫不全症候群 10件 無症候キャリア7件、AIDS 2件、その他1件で、推定感染地は国内7件、不明3件、推定感染経路はすべて同性間性的接触8件、不明2件であった。
梅毒 5件 早期顕症梅毒 I 期2件、無症候梅毒3件で、推定感染地は国内4件、タイ1件、推定感染経路は性的接触4件(同性間1件、性別不明3件)、不明1件であった。
風しん 1件 検査診断例の30歳代女性。風しん含有ワクチン接種歴は1回であった。

定点把握対象疾患 報告数 2008年42週

定点種別	対象疾患	2008年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		39週	40週	41週	42週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	56	74	88	96	0.65	147	150
	咽頭結膜熱	33	19	24	18	0.12		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	177	160	208	155	1.05		
	感染性胃腸炎	471	501	528	515	3.50		
	水痘	74	58	74	88	0.60		
	手足口病	175	176	178	141	0.96		
	伝染性紅斑	10	7	10	6	0.04		
	突発性発しん	110	91	100	96	0.65		
	百日咳	4	3	1	3	0.02		
	ヘルパンギーナ	101	60	37	29	0.20		
	流行性耳下腺炎	75	74	78	104	0.71		
	不明発しん症 (注1)	15	14	14	11	0.07		
	MCLS(川崎病) (注1)	4	2	4	0	0.00		
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	10	5	19	14	0.05	285	290
眼科	急性出血性結膜炎	0	2	1	0	0.00	39	39
	流行性角結膜炎	16	11	18	8	0.21		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	0	0	1	0	0.00	24	24
	無菌性髄膜炎	0	5	0	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	9	4	2	6	0.25		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	0	0	2	0.08		
2008/10/22集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病) は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。増加の程度はやや小さくなっているが、過去の同時期と比較して依然高いレベルで推移しており、注意が必要である。
- ・手足口病の定点当たり報告数は微減したが、過去の同時期と比較して依然高いレベルにあり、注意が必要と思われる。
- ・流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。今後の推移に注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

大田区保健所管内定点医療機関

・3歳男児:カンピロバクター性腸炎、鶏肉が原因。

みなと保健所管内定点医療機関

・インフルエンザA型1名。

多摩府中保健所管内定点医療機関

・インフルエンザB型2名。

多摩小平保健所管内定点医療機関

・百日咳:3種混合追加接種まで済の事例、3歳男児、抗体価は東浜株20倍、山口株160倍、白血球8600、リンパ球45%。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2008年42週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	15			5				3		
～11か月	23	1		40	2	10		38	1	4
1歳	30	4	1	81	21	38		47		9
2歳	15	2	14	45	17	24	1	7		5
3歳	9	1	13	44	15	17	1	1	1	2
4歳	3	4	20	41	11	15	1			3
5歳	1	3	28	36	6	14	2			2
6歳			26	31	4	7				1
7歳		1	9	25	4	3	1			
8歳		2	12	15	1	2				
9歳			7	12	4	3				
10～14歳			12	46	2	6				2
15～19歳			3	14		1				1
20～29歳			10	80	1	1			1	
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	96	18	155	515	88	141	6	96	3	29
先週比	8	-6	-53	-13	14	-37	-4	-4	2	-8

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1				
～11か月		3				
1歳	5	6		2		
2歳	7					
3歳	15					
4歳	26	1		1		
5歳	18					
6歳	12			1		
7歳	4			1		
8歳	2					
9歳	7			1		
10～14歳	3					
15～19歳	1					
20～29歳	4			3		1
30～39歳				2		3
40～49歳				2		1
50～59歳						2
60～69歳						
70～79歳				1		1
80歳以上						
合計	104	11		14		8
先週比	26	-3	-4	-5	-1	-10

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数 【年齢階級別】 2008年42週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳	1	
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2008年42週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	6			2		4				
中央区		2	1	3	1	1		4		
みなと	11	2	5	20	3	1		5		2
新宿区	11		5	11	5	2		3		
文京	3	4		1		5			1	
台東	11			14		2	1			
墨田区	1		4	2		1		1		
江東区			5	39	2	4		1		1
品川区	4		4	32	2	10		5		
目黒区				5		1		2		
大田区	16	2	13	35	3	10	2	12	1	4
世田谷			1	28	2	13		6		3
渋谷区				7	7	2		1		1
中野区			2	63	2	5		3		1
杉並		1	1	39	1	1	1	1		
池袋					2	4		1		
北区			7	9	1	6		2		3
荒川区	4		11	9	2	6		4		
板橋区			1	11	4	4		1		
練馬区		2	2	9	3	3		2		
足立				22	6	6	1	6		1
葛飾区			12	10	2	10		3		
江戸川	2		15	14	3			2		4
八王子市	3	2	8	31	6	3		5		2
西多摩	2		2	12	5	1		2		1
南多摩	3		9	9	4	2	1	4		
町田		2	28	21	14	14		7		2
多摩立川		1	2	8	6	1		1		
多摩府中	1		4	12	1	8		4		
多摩小平	18		13	28	1	11		8	1	4
島しょ				9						
東京都合計	96	18	155	515	88	141	6	96	3	29

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2008年42週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田	1					
中央区	1					
みなと	4	2		2		
新宿区	2					
文京	2					1
台東	2					
墨田区	2					
江東区	6	1		2		
品川区	2					
目黒区						
大田区	3	1				
世田谷	4					1
渋谷区						
中野区	4					
杉並	5					
池袋	2					
北区	5					
荒川区	16					1
板橋区	2					1
練馬区	2			1		
足立	6	1				
葛飾区	11	3		1		
江戸川	2			1		
八王子市	3	3				3
西多摩	1					
南多摩	5					
町田	11			3		
多摩立川				1		
多摩府中				2		
多摩小平				1		1
島しょ						

東京都合計	104	11	-	14	-	8
-------	-----	----	---	----	---	---

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区	1	
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	1	
-------	---	--

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2008年42週

定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	2.00			0.67		1.33				
中央区		0.67	0.33	1.00	0.33	0.33		1.33		
みなと	2.20	0.40	1.00	4.00	0.60	0.20		1.00		0.40
新宿区	1.83		0.83	1.83	0.83	0.33		0.50		
文京	1.00	1.33		0.33		1.67			0.33	
台東	3.67			4.67		0.67	0.33			
墨田区	0.33		1.33	0.67		0.33		0.33		
江東区			1.25	9.75	0.50	1.00		0.25		0.25
品川区	0.67		0.67	5.33	0.33	1.67		0.83		
目黒区				1.67		0.33		0.67		
大田区	1.78	0.22	1.44	3.89	0.33	1.11	0.22	1.33	0.11	0.44
世田谷			0.13	3.50	0.25	1.63		0.75		0.38
渋谷区				1.75	1.75	0.50		0.25		0.25
中野区			0.33	10.50	0.33	0.83		0.50		0.17
杉並		0.17	0.17	6.50	0.17	0.17	0.17	0.17		
池袋					0.50	1.00		0.25		
北区			1.75	2.25	0.25	1.50		0.50		0.75
荒川区	2.00		5.50	4.50	1.00	3.00		2.00		
板橋区			0.17	1.83	0.67	0.67		0.17		
練馬区		0.40	0.40	1.80	0.60	0.60		0.40		
足立				4.40	1.20	1.20	0.20	1.20		0.20
葛飾区			3.00	2.50	0.50	2.50		0.75		
江戸川	0.40		3.00	2.80	0.60			0.40		0.80
八王子市	0.75	0.50	2.00	7.75	1.50	0.75		1.25		0.50
西多摩										
南多摩	0.75		2.25	2.25	1.00	0.50	0.25	1.00		
町田		0.50	7.00	5.25	3.50	3.50		1.75		0.50
多摩立川		0.17	0.33	1.33	1.00	0.17		0.17		
多摩府中	0.10		0.40	1.20	0.10	0.80		0.40		
多摩小平	3.00		2.17	4.67	0.17	1.83		1.33	0.17	0.67
島しょ				9.00						

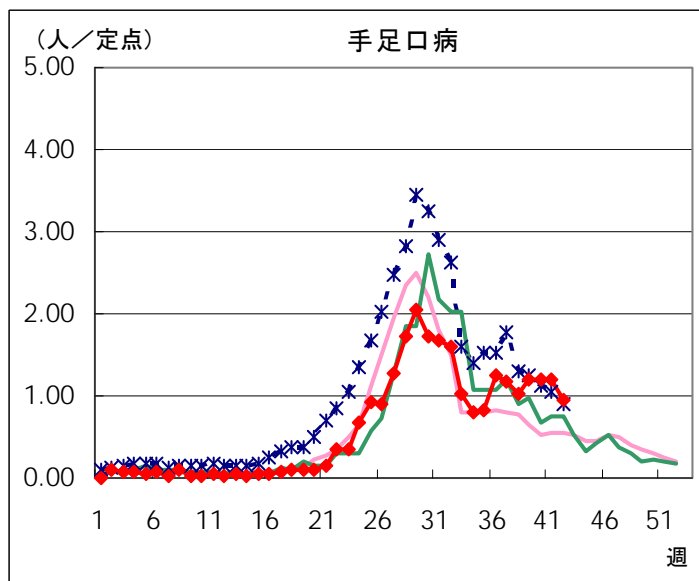
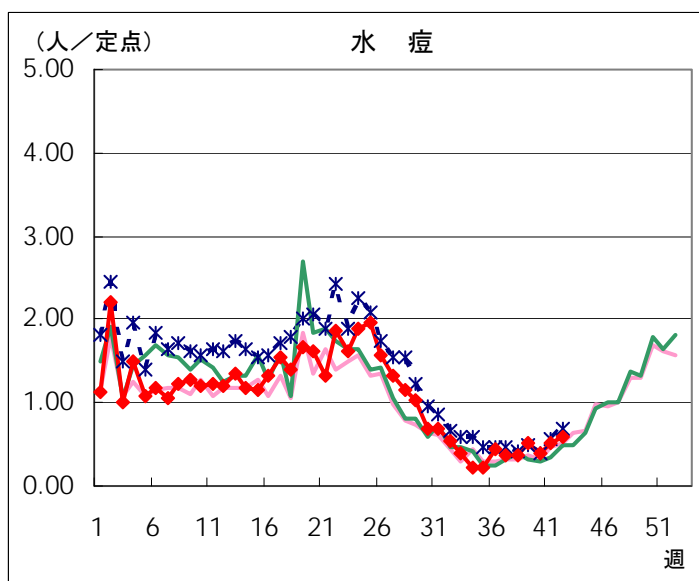
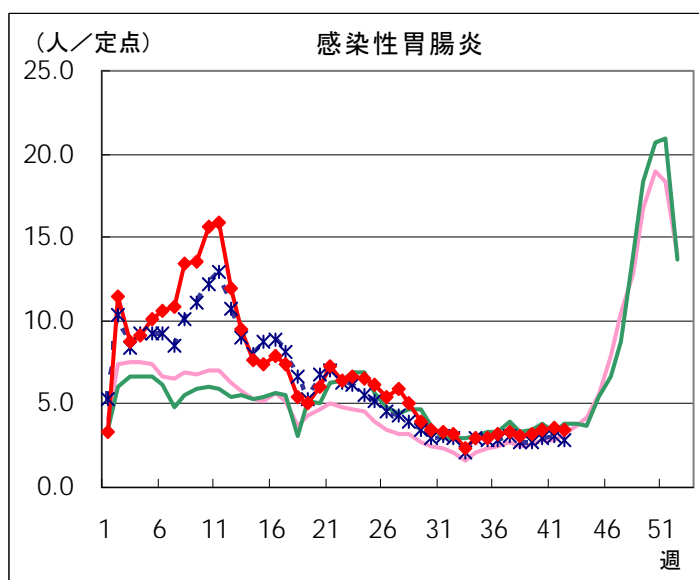
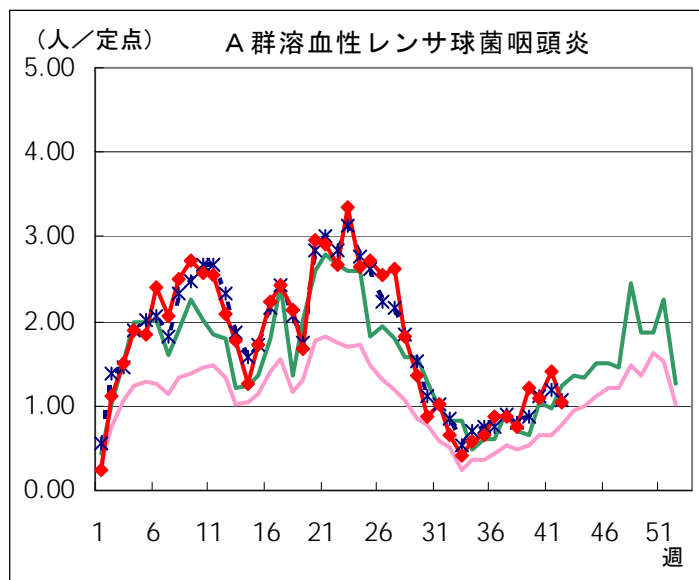
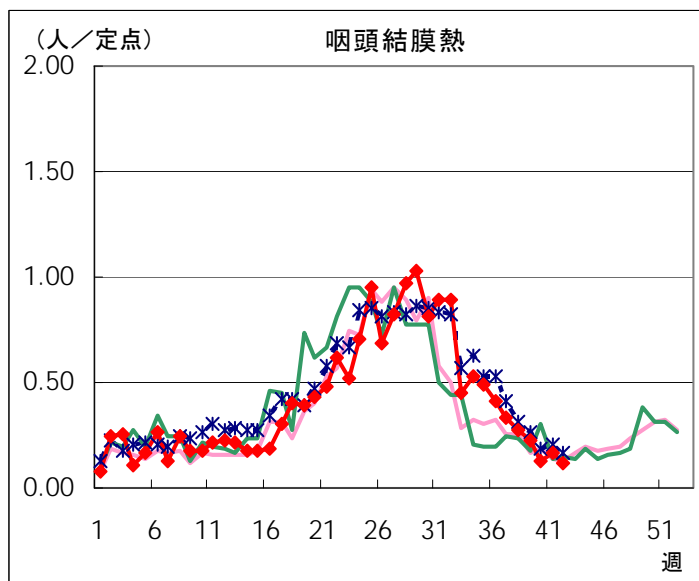
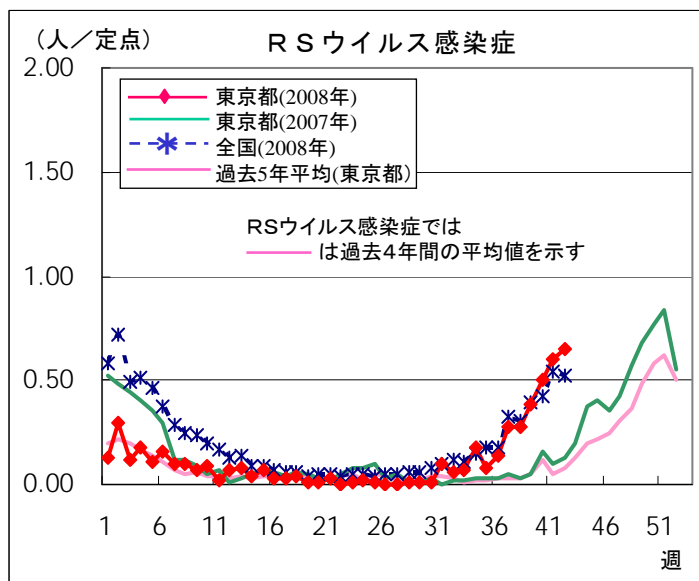
東京都	0.65	0.12	1.05	3.50	0.60	0.96	0.04	0.65	0.02	0.20
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

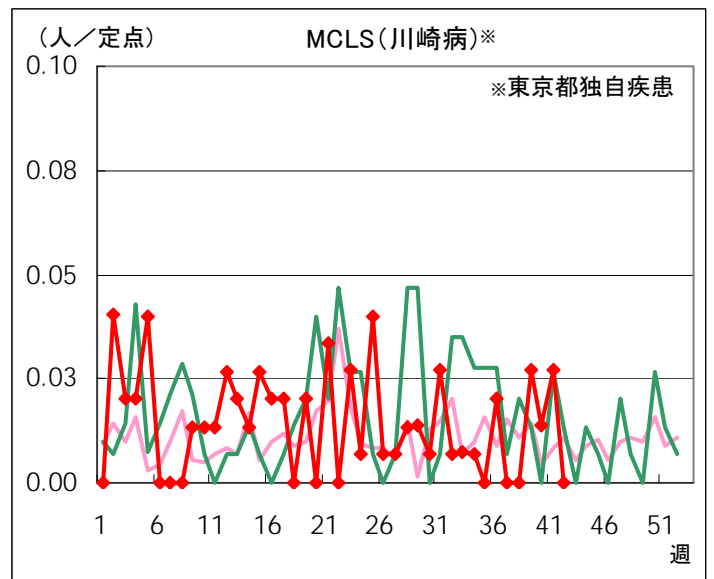
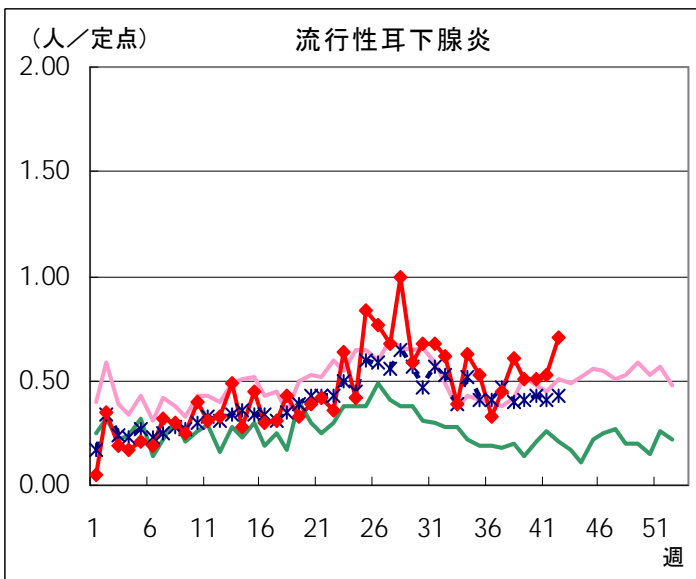
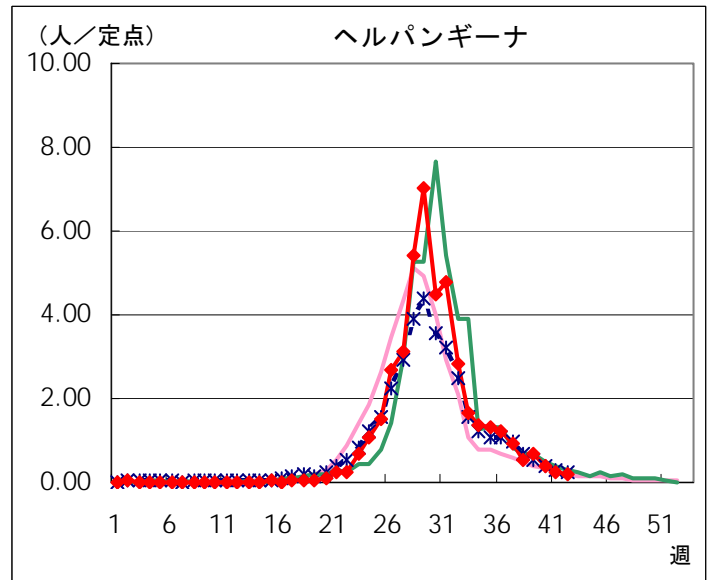
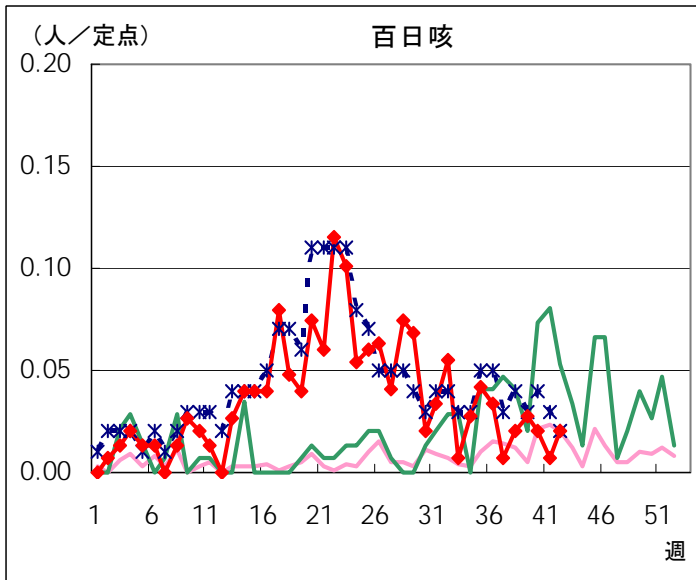
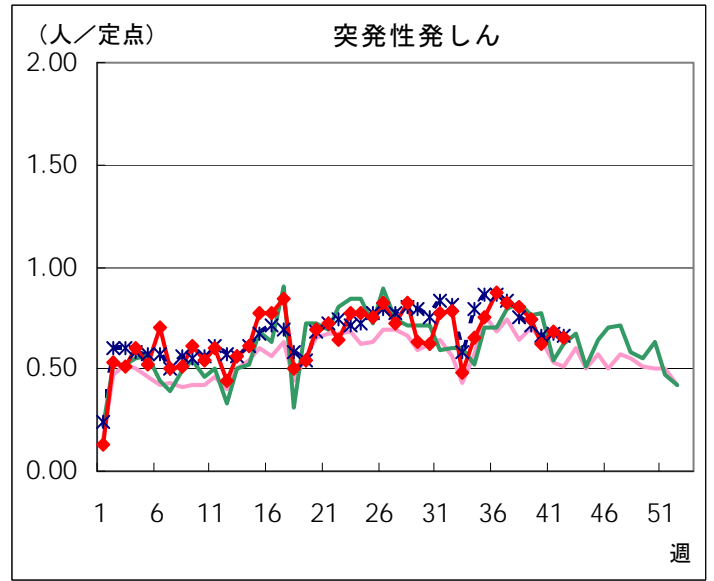
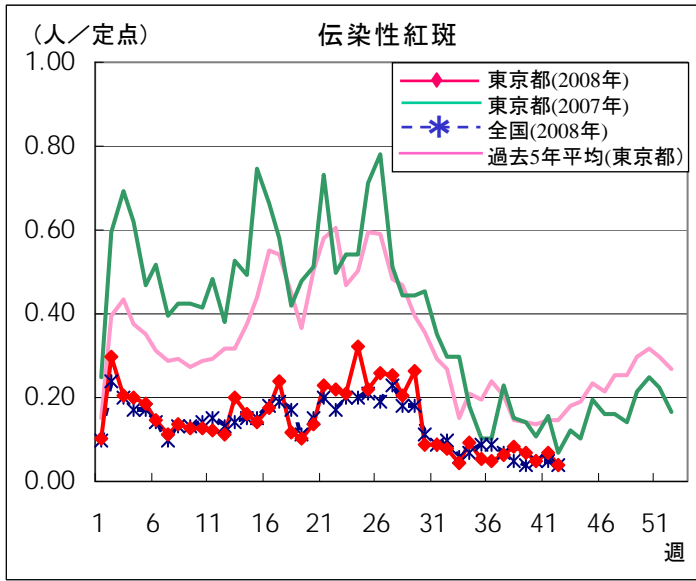
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田	0.33					
中央区	0.33					
みなと	0.80	0.40		0.29		
新宿区	0.33					
文京	0.67					1.00
台東	0.67					
墨田区	0.67					
江東区	1.50	0.25		0.22		
品川区	0.33					
目黒区						
大田区	0.33	0.11				
世田谷	0.50					0.50
渋谷区						
中野区	0.67					
杉並	0.83					
池袋	0.50					
北区	1.25					
荒川区	8.00					1.00
板橋区	0.33					0.50
練馬区	0.40			0.08		
足立	1.20	0.20				
葛飾区	2.75	0.75		0.11		
江戸川	0.40			0.08		
八王子市	0.75	0.75				1.50
西多摩						
南多摩	1.25					
町田	2.75			0.33		
多摩立川				0.08		
多摩府中				0.10		
多摩小平				0.07		0.50
島しょ						

東京都	0.71	0.07	-	0.05	-	0.21
-----	------	------	---	------	---	------

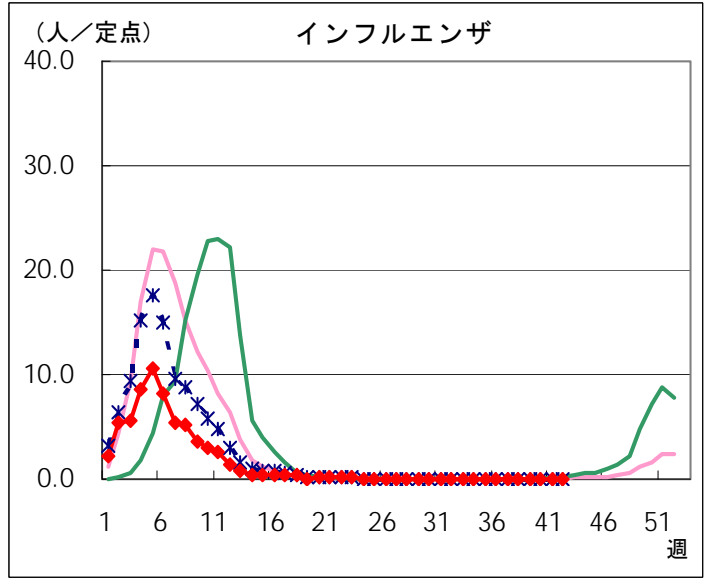
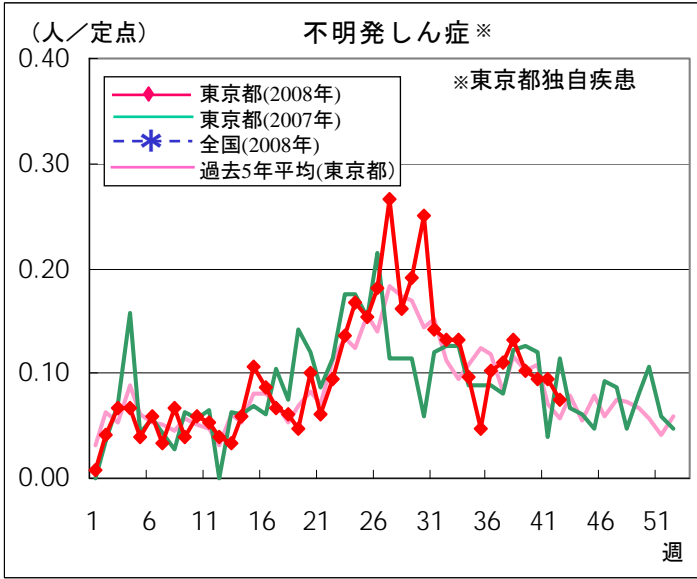
定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2008年42週現在

◆ 小児科定点

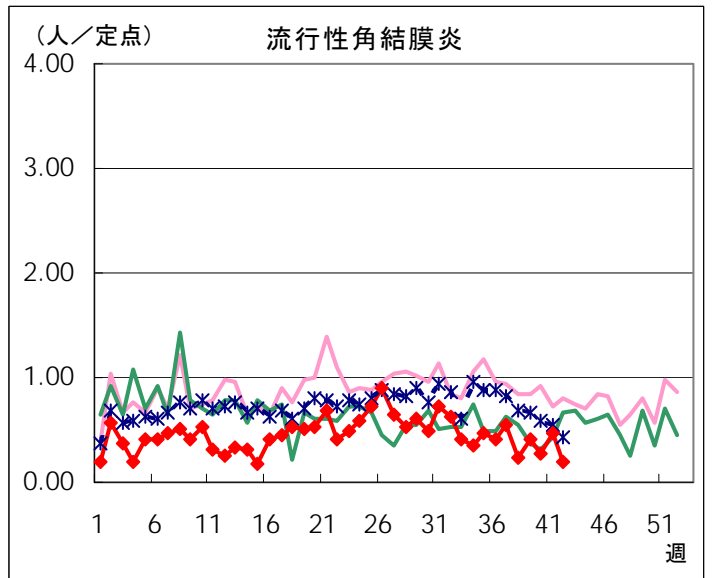
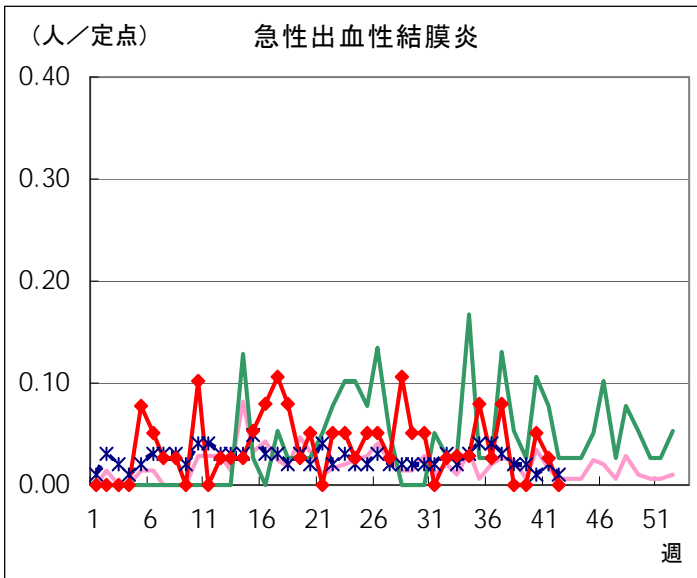




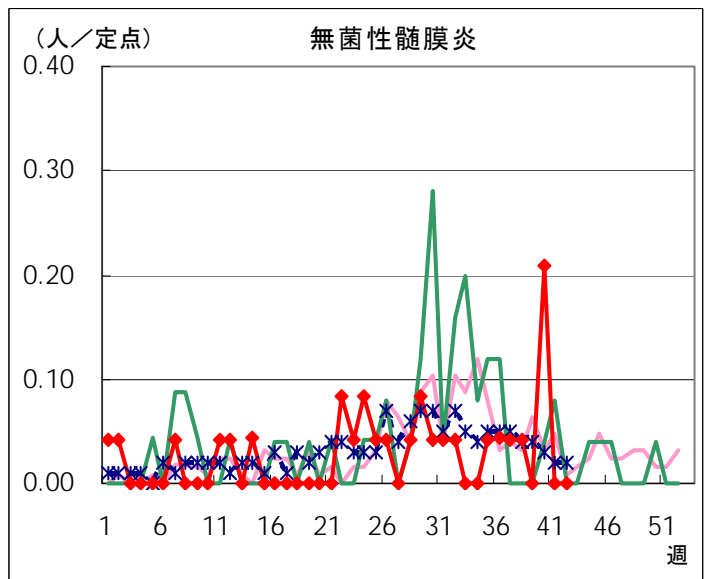
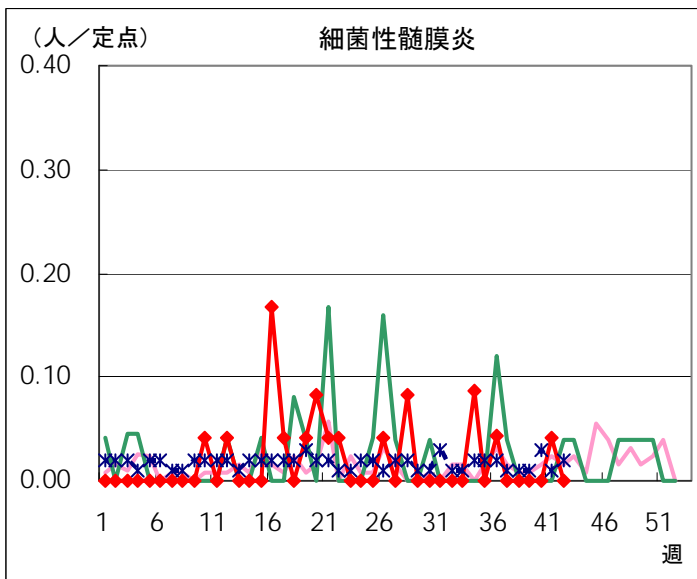
◆ インフルエンザ定点

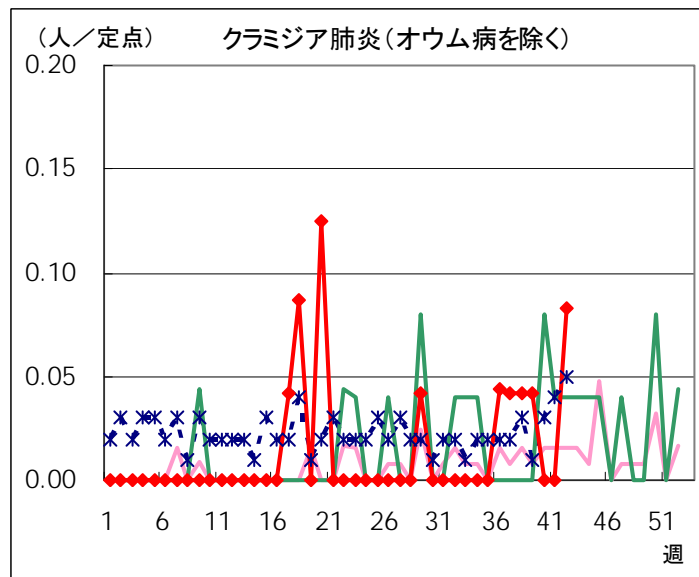
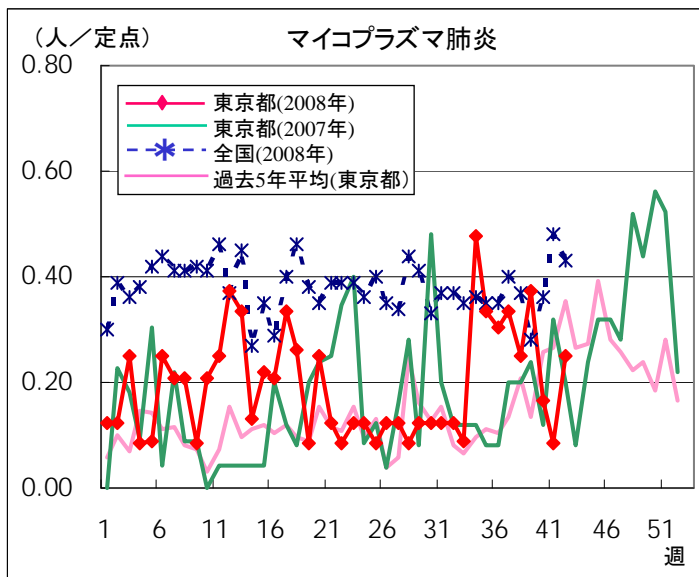


◆ 眼科定点

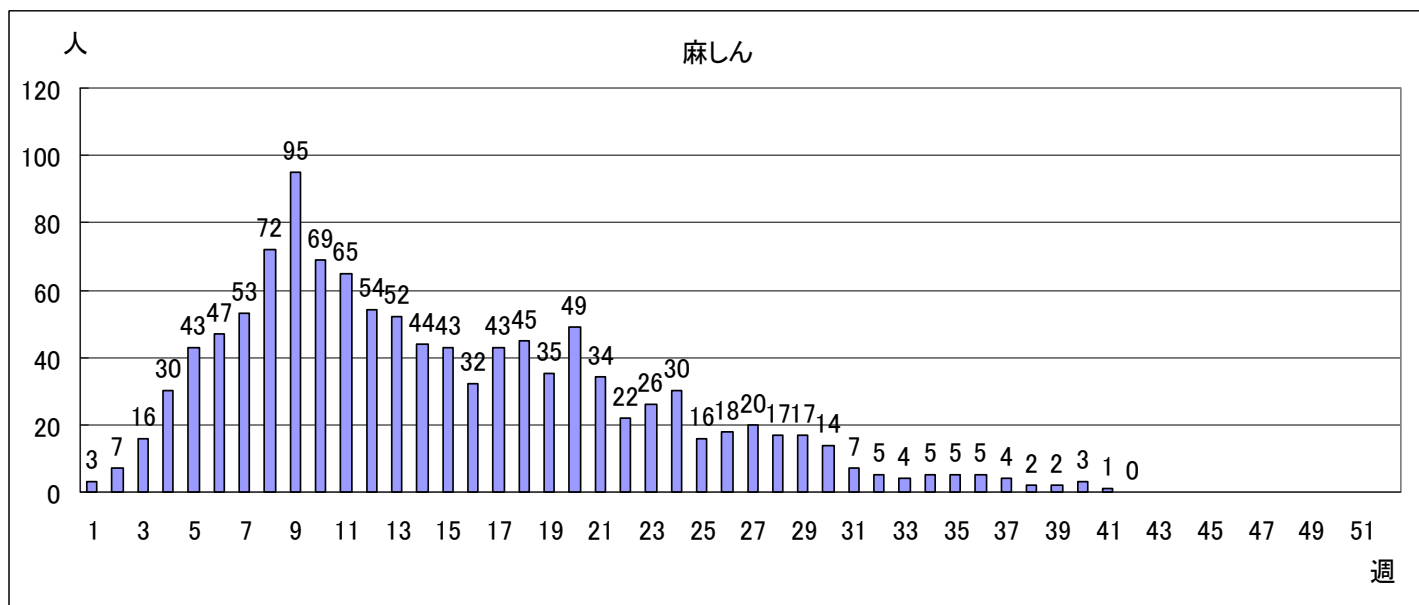


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2008年42週現在



病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
9/19	ヘルパンギーナ 突発性発しん	9M	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	遺伝子
9/27	感染性胃腸炎		糞便	エンテロウイルス	
9/24	溶連菌感染症	10	咽頭拭い液(菌株)	A群溶連菌T-4型	血清型
9/25	感染性胃腸炎	7	糞便	アデノウイルス	遺伝子
9/26	感染性胃腸炎	37	糞便	アデノウイルス	
9/29	気管支肺炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
9/30	気管支肺炎	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
10/1	敗血症	3M	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
10/2	喘息性気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
10/2	気管支喘息	10M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
10/3	喘息性気管支炎	3M	咽頭拭い液	エンテロウイルス RSウイルス	
10/3	急性気管支炎	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
10/4	突発性発しん	10M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型 サイトメガロウイルス	
10/5	気管支炎	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
10/6	頸部リンパ節腫脹	10	咽頭拭い液	ライノウイルス	
10/6	RSウイルス感染症	2	咽頭拭い液	RSウイルス	
10/6	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
10/6	突発性発しん	11M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
10/6	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
10/6	手足口病	4	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス	
10/6	手足口病	1	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス	
10/6	急性細気管支炎	7M	咽頭拭い液	RSウイルス	
10/7	周期性嘔吐症	9	直腸拭い液	アデノウイルス	
10/7	喘息	7	咽頭拭い液	ライノウイルス	
10/7	発熱	1M	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス1型	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
10/7	RSウイルス感染症	1	鼻汁	RSウイルス	遺伝子
10/7	急性咽頭炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス ライノウイルス	
10/7	不明発しん症	10M	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	
10/7	扁桃炎	4	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス	
			糞便	アデノウイルス エンテロウイルス	
10/7	感染性腸炎	22	糞便	カンピロバクター・ジェジュニ	分離同定
10/8	白血球血小板減少症	1	咽頭拭い液	アデノウイルス ヒトヘルペスウイルス6型 EBウイルス	遺伝子
10/8	気管支肺炎	2	咽頭拭い液	ライノウイルス	
10/8	感染性腸炎	26	直腸拭い液	アデノウイルス	
10/8	発熱 気管支炎	3	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス2型	
10/8	不明発しん症	9M	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス7型	
10/8	感染性腸炎	26	糞便	カンピロバクター・ジェジュニ	分離同定
10/9	急性咽頭炎	4	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス	遺伝子
10/9	急性細気管支炎	5M	咽頭拭い液	ライノウイルス RSウイルス	
10/9	急性細気管支炎	1M	咽頭拭い液	アデノウイルス RSウイルス	
10/9	急性細気管支炎	5M	咽頭拭い液	アデノウイルス ライノウイルス RSウイルス	
10/9	急性結膜炎	8M	咽頭拭い液	アデノウイルス ライノウイルス	
10/9	発しん	7M	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
10/9	髄膜炎	1M	鼻汁	アデノウイルス	
			直腸拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス	
10/10	熱性けいれん重積	1	咽頭拭い液	アデノウイルス ライノウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	
			糞便	アデノウイルス エンテロウイルス	

病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2008年							
		34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週
ウイルス	アデノウイルス	11	14	9	5	8	4	3	18
	ライノウイルス	1	2	3	3	4		2	8
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	8	19	10	6	15	11	11	16
	単純ヘルペスウイルス				1			1	1
	水痘・帯状疱疹ウイルス				1				
	ヘルペスウイルス6/7	8	3	2	9	3	7	6	9
	EBウイルス		2	3	3	5	3	2	1
	サイトメガロウイルス	1	1	4	2	1	3	1	3
	ムンプスウイルス		2	1	1		2	2	
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19				1				
	RSウイルス	1	1			6		2	9
	ノロウイルス	2				1			
	ロタウイルス	1							
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3								
インフルエンザウイルスB				1	2				
デングウイルス									
その他のウイルス	2			2	1		1	1	
細菌	カンピロバクター			1					2
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌		1		1	2	1	1	1
	その他の細菌	1				2	4		
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2008年34週～41週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数	2	68	60	33	43	8	6	5	3	12	1	36	12	2			182	
ウイルス	アデノウイルス		14	7	6	3	8	1	5		4	4					20	
	ライノウイルス		7	7	1		1				1						6	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス		15	14	4	6	3		2	10		11	1					30
	単純ヘルペスウイルス					1												2
	水痘・帯状疱疹ウイルス																	1
	ヘルペスウイルス6/7		3	1					2			15	1					25
	EBウイルス		4	1								1	3					10
	サイトメガロウイルス		3						1			6	1					5
	ムンプスウイルス												7					1
	麻しんウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											1						
	RSウイルス		2	16														1
	ノロウイルス				3													
	ロタウイルス				1													
	インフルエンザウイルスAH1																	
インフルエンザウイルスAH3																		
インフルエンザウイルスB	2	1																
デングウイルス																		
その他のウイルス		3	4															
細菌	カンピロバクター				3													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌						6										1	
その他の細菌		5				1											1	
その他の病原体																		

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2008年9月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	97	1.76	55	55
		女	134	2.44		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	46	0.84		
		女	28	0.51		
	尖圭コンジローマ	男	54	0.98		
		女	37	0.67		
	淋菌感染症	男	74	1.35		
		女	11	0.20		
	膣トリコモナス症*	男	0	0.00		
		女	16	0.29		
梅毒様疾患	男	1	0.02			
	女	3	0.05			
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	74	3.08	24	24
		女	38	1.58		
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	20	0.83		
		女	9	0.38		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	2	0.08		
		女	2	0.08		
2008/10/14集計						

* 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2008年9月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	4	1	1	7		
20～24歳	9	6	4	11		
25～29歳	18	6	9	14		
30～34歳	25	8	10	17		
35～39歳	16	8	7	9		
40～44歳	11	6	7	4		
45～49歳	6	4	7	4		
50～54歳	1	3	5	4		1
55～59歳	4	2	1	4		
60～64歳	2	2	2			
65～69歳			1			
70歳～	1					
合計	97	46	54	74	0	1
先月数	107	32	52	76	0	7
増減数	-10	14	2	-2	0	-6

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	16	2	1	2	2	
20～24歳	54	9	12	3	2	2
25～29歳	22	6	11	3	4	
30～34歳	22	4	7	1	3	
35～39歳	13	5	4	1	1	
40～44歳	5	1		1		
45～49歳	1		1			
50～54歳	1	1			2	
55～59歳					1	
60～64歳					1	1
65～69歳						
70歳～			1			
合計	134	28	37	11	16	3
先月数	104	28	23	14	11	3
増減数	30	0	14	-3	5	0

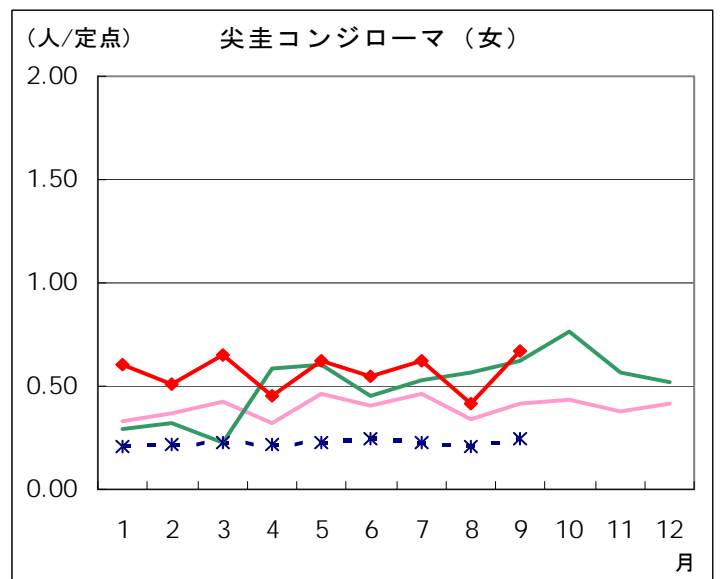
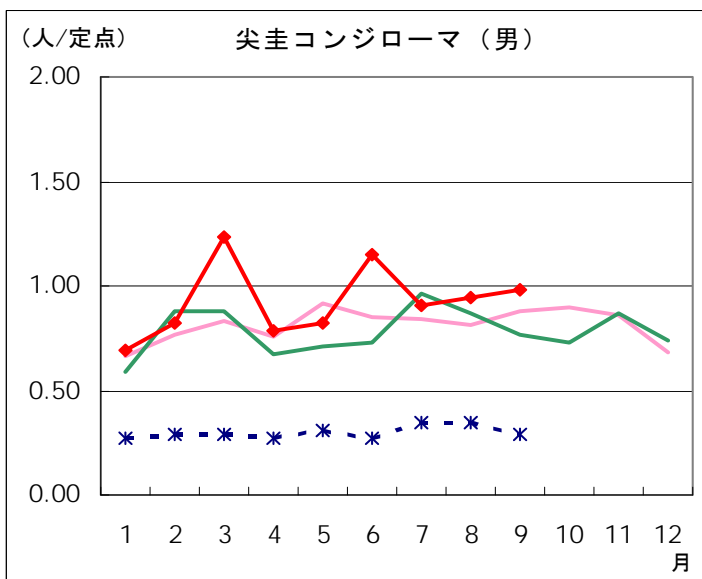
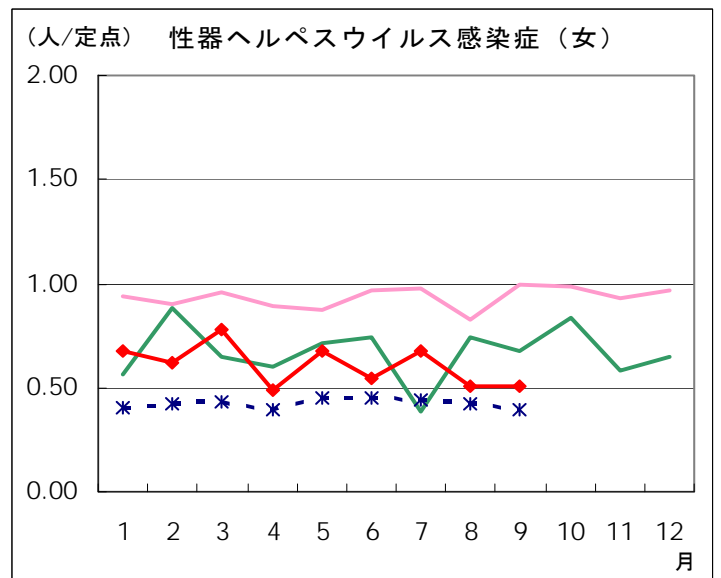
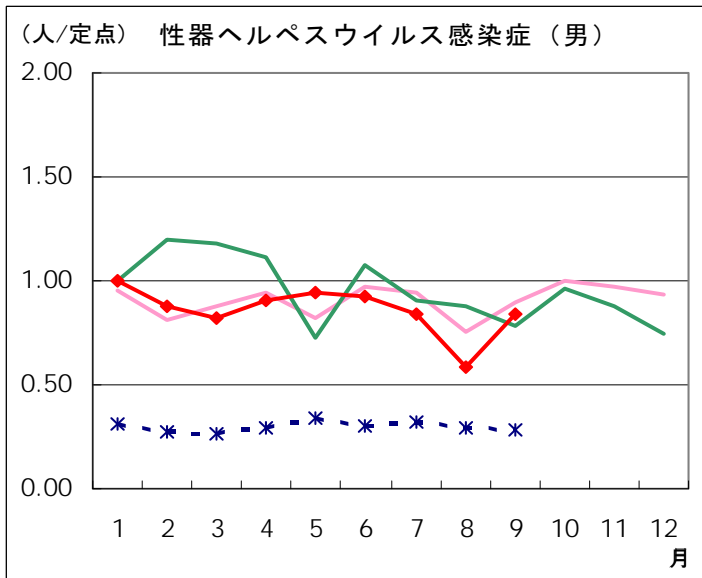
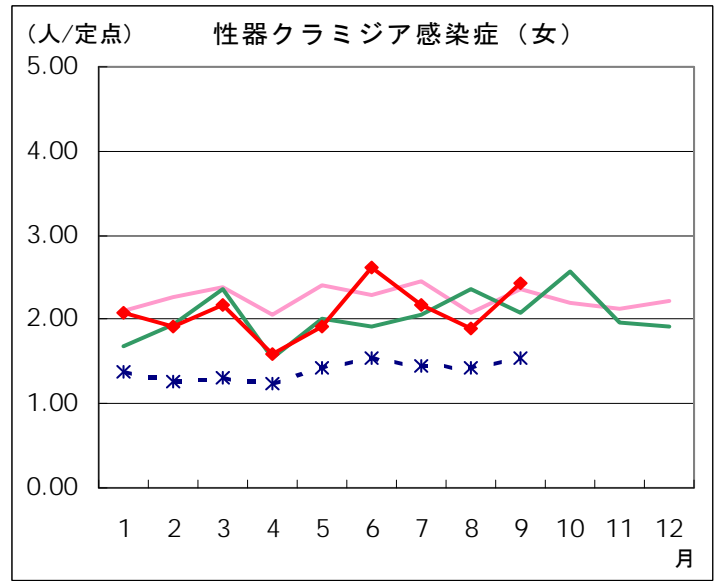
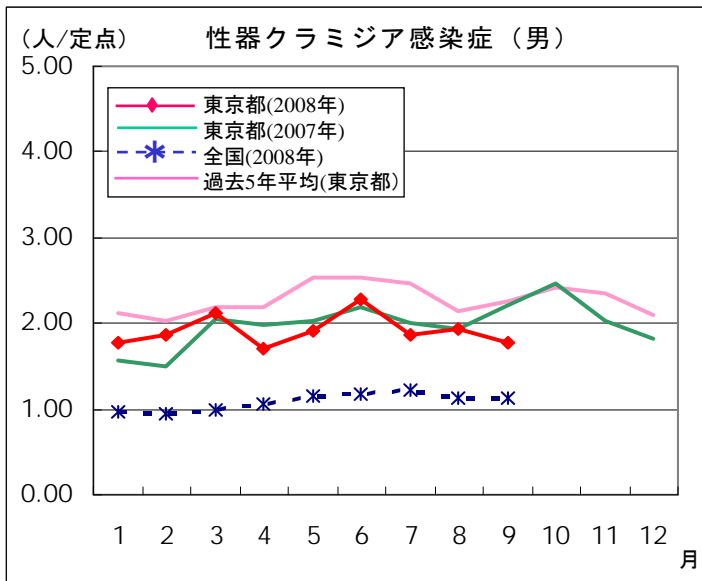
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2008年9月

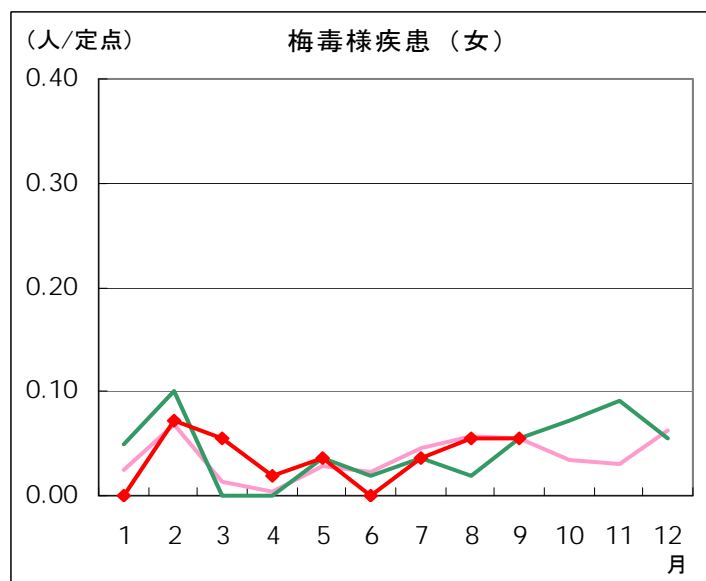
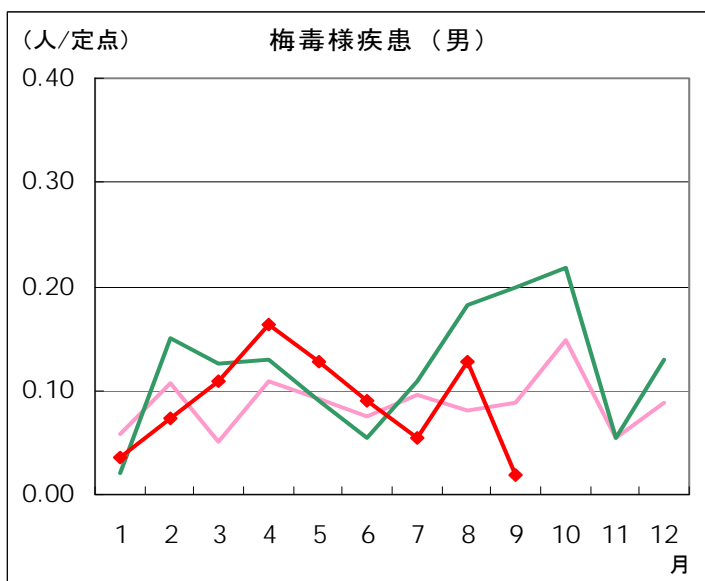
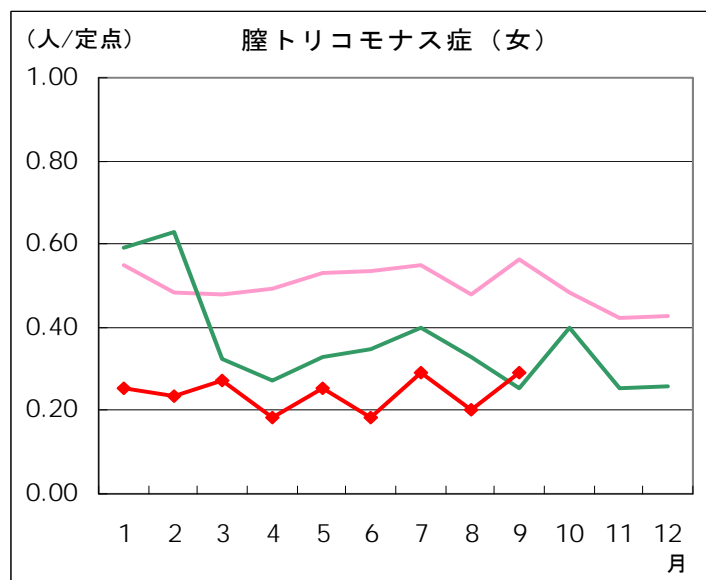
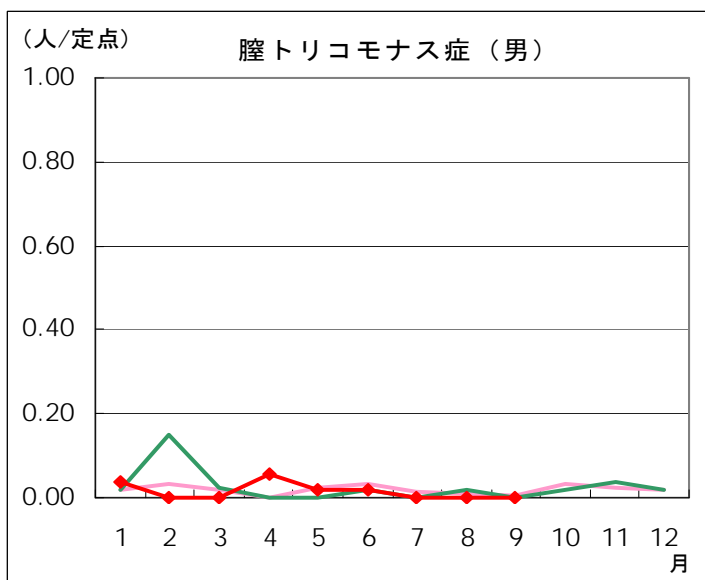
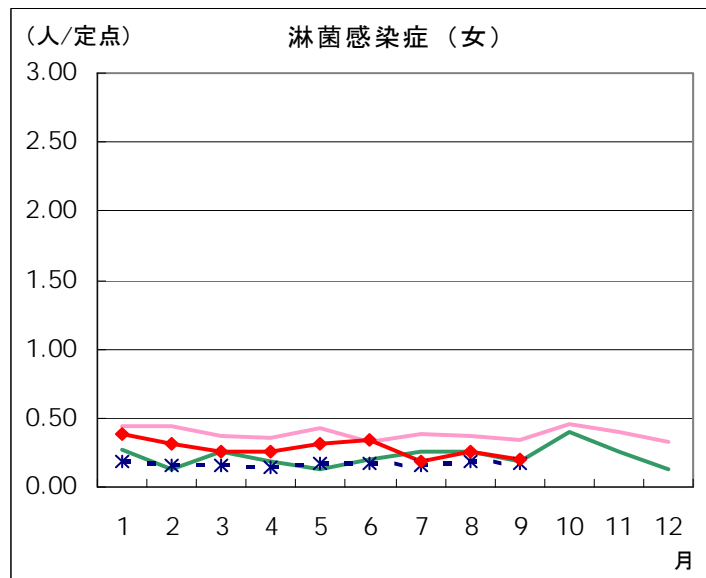
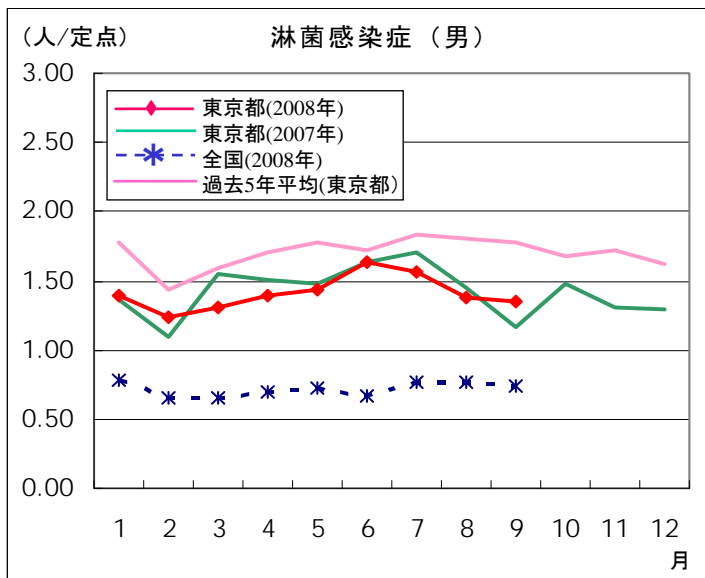
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	13	4	8	14		1
中央区	3	2			2		
みなの	2	6	3	1	2		
新宿区	6	24	14	21	17		
文京	1	4	2		2		
台東	3	1					
墨田区	2	3		3	2		
江東区	2	11	8	6	8		
品川区	1	1	1				
大田区	2	1			2		
渋谷区	5	11	3	2	1		
中野区	2	6			7		
杉並	2						
池袋	3	11	6	8	6		
北区	1		1	2			
荒川区	1						
板橋区	2		1	2	1		
足立	2		3		3		
江戸川	2	3			6		
八王子市	4						
町田	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3			1	1		
多摩小平	1						
合 計	55	97	46	54	74		1
定点当たり		1.76	0.84	0.98	1.35		0.02

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2			1	1		
中央区	3	8					
みなの	2	8		6			
新宿区	6	15	10	6	2	1	
文京	1						
台東	3	20	1	4		2	1
墨田区	2			2			
江東区	2					1	1
品川区	1						
大田区	2	2					
渋谷区	5	7	5	9	1		
中野区	2	4		1	1	3	
杉並	2						
池袋	3	11	4	4		1	1
北区	1						
荒川区	1	3	1		2	1	
板橋区	2	11		1			
足立	2						
江戸川	2	11	1		1	1	
八王子市	4	18	3	3	1	3	
町田	1		1			1	
多摩立川	2	14	2		1	1	
多摩府中	3				1		
多摩小平	1	2				1	
合 計	55	134	28	37	11	16	3
定点当たり		2.44	0.51	0.67	0.20	0.29	0.05

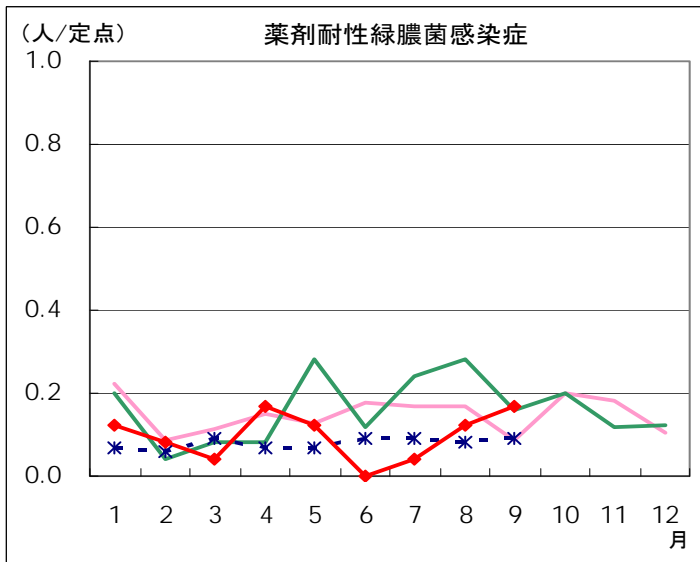
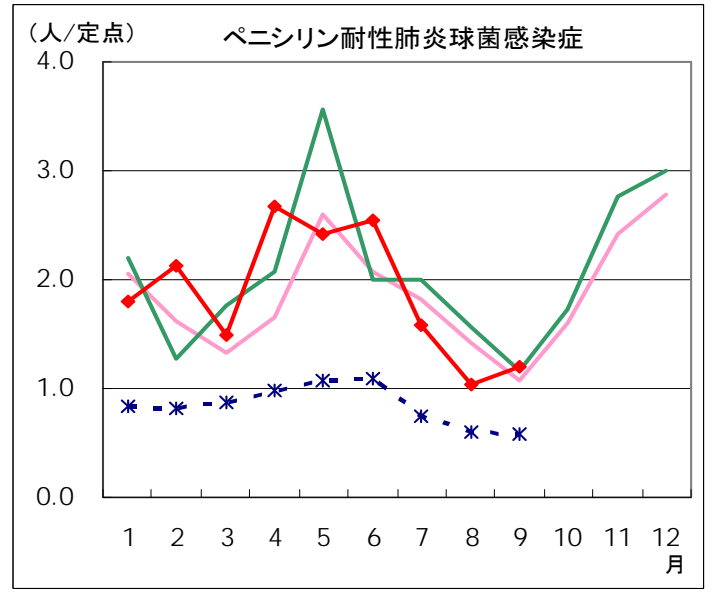
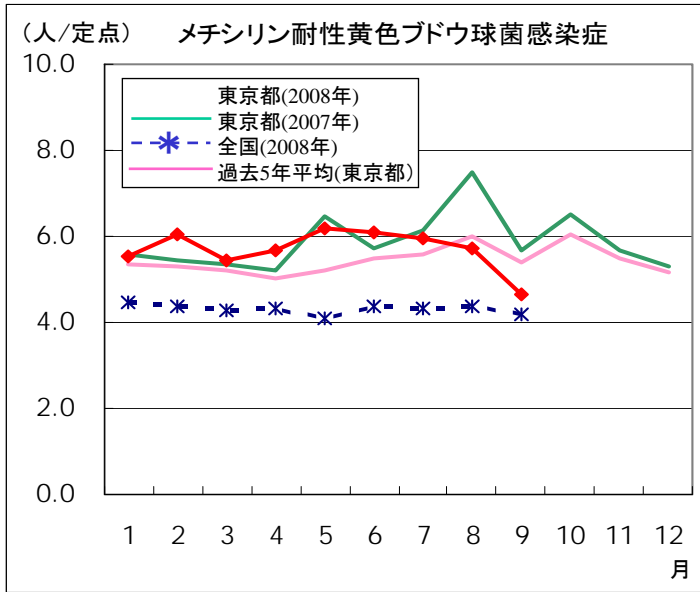
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2008年9月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
9/1	尖圭コンジローマ	27	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス62型	遺伝子
9/1	尿道炎	22	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	
9/2	尿道炎	31	男	尿	クラミジア	
9/3	尿道炎	34	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
9/3	尿道炎	42	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	遺伝子
9/4	尿道炎	24	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	
9/8	尿道炎	20	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
9/9	尿道炎	40	男	尿	淋菌	
9/11	コンジローマ	45	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス6型	遺伝子
9/11	淋菌性尿道炎	37	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	インフルエンザ菌	分離同定
9/16	再発性単純性ヘル ペス	32	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	遺伝子
9/18	陰茎コンジローマ	47	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス11型	
9/18	子宮頸管炎 外陰部コンジローマ	19	女	子宮頸管擦過物	ヒトパピローマウイルス52型	
9/24	陰茎ヘルペス	29	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス1型	
9/24	陰茎コンジローマ	45	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス6型	
9/24	淋菌性尿道炎	31	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法	
9/24	尿道炎	28	男	尿	大腸菌	分離同定	
9/25	尖圭コンジローマ (肛囲)	39	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス11型	遺伝子	
9/25	淋菌性尿道炎	39	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子 分離同定	
9/29	陰茎ヘルペス	34	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	遺伝子	
9/29	尿道炎	44	男	尿	クラミジア		
9/29	尿道炎	28	男	尿	クラミジア		
9/30	陰茎ヘルペス	45	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型		
9/30	陰茎ヘルペス	51	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型		
9/30	クラミジア感染症	22	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア		
9/30	クラミジア感染症	18	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア		
9/30	淋菌性尿道炎	31	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌		遺伝子 分離同定